

函館市議会議員 無所属 3 期目

荒木あけみ

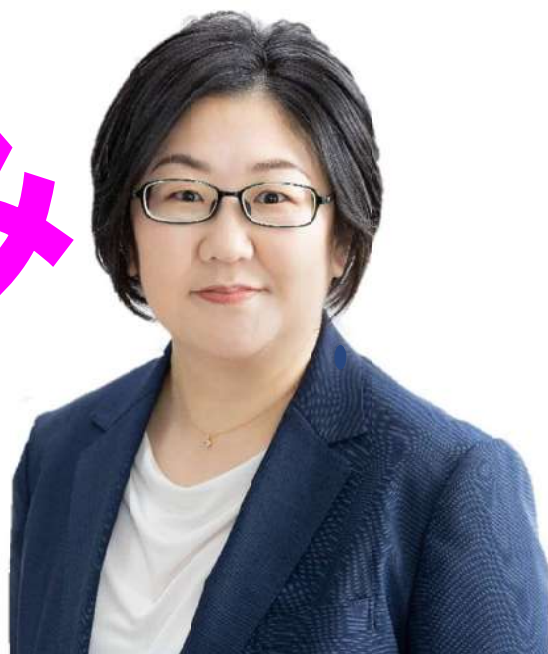
後援会発行ニュースレター

2023/11/30 未来へつなぐ荒木あけみネット 発行責任者佐々木真実（内部討議資料）

無所属として、3 期目始動！ この 4 年間も「提案」し「結果」を求めます！

荒木あけみ、4月24日に投開票が行われた函館市議会議員選挙において、**6163 票(27 名中、第 3 位)**という多くの信任を得て当選することができました。前回(3865 票)を大きく上回る結果となり身の引き締まる思いです。

3 期目も、今・未来の函館市にとって「良いこと」には賛成、「悪いこと」には反対の立場をブレずに貫きます。そして、これからの函館市にとって必要な政策と市民の皆さまの声を届けてまいります。これから 4 年間皆さまのお役に立ち、信頼される議員を目指して努力します。ご指導ご支援の程よろしくお願い申し上げます。



お礼をお伝えできません 🙇

公職選挙法では「あいさつ行為」に制限があり、皆さまへお礼を述べることはできませんでした。

公職選挙法 第 178 条「選挙期日後のあいさつ行為の制限」

何人も、選挙の期日後において、当選又は落選に関し選挙人にあいさつする目的をもって次に掲げる行為をすることができない。①選挙人に対して戸別訪問をすること。②自筆の信書及び当選又は落選に関する祝辞、見舞等の答礼のためにする 信書を除くほか文書図画を頒布し又は掲示すること。（以下略）

また、公職選挙法により、議員は年賀状、寒中見舞等の挨拶状も禁じられています（ただし、いただいた年賀状に自筆で答礼することは禁じられておりません）。

納涼会を行いました

9 月 24 日(日)、荒木あけみ後援会主催で「納涼会」を行いました。初めての納涼会&屋外イベントということで、地域の方を中心にご案内しました。会場は、函館駅から 1 分という函館駅前の複合施設である HAKOVIVA(ハコビバ)。荒木あけみの地元です。2019 年 12 月のオープン直後に新型コロナウイルス感染症が拡大。大変な時期を乗り越えて、多くの皆さまに訪れてほしい、そんな気持ちで開催いたしました。当日は晴天！屋根

がない中で日光をたっぷり浴びた時間でした。議員活動の報告に加えて、抽選会に宝探し。皆さんは HAKOVIVA 内の店舗で食事をしたり、お土産を買ったり、マッサージを受けたり。今回は試行を兼ねての実施でしたが、楽しんでいただけたようです。来年も納涼会を開催できればと思っています。



令和 5 年第 2 回市議会定例会(7 月)一般質問

3期目
初質問

7月20日(木) 10:00~11:00

① DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進について

市は、今年度内に「デジタル化推進ビジョン」を策定する。類似している「はこだて未来 AI ビジョン」は廃止。市が目指す方向を考えるとデジタル化推進というよりは DX 推進なのではないか、と名称変更を提案した。町会のデジタル化(Wifi 設置補助、講座開催)、学校のデジタル化(1人1台の学習用端末)など各部局でデジタル化が進む中、庁内のデジタル化を一元的に進捗管理する必要があること、職員の意識改革や効果の把握(研修等の案内をするだけでなく、何人参加したのかを部局毎に把握、内容の定着率をフォローアップする)を提案。



② 小学校のプール授業中止について

全国ニュースにもなった函館市のプール授業中止について、大きな課題は「交通手段(バス)の確保」だった。しかし、交通手段が確保されても、天候・気温の関係でプールに入れなければ意味がない。荒木は平成27年、令和元年に2回「小学校の水泳学習」について質問をした。論点は「プールのない学校に通う児童がプールに入る機会を確保してほしい」ということ。プールのない学校は年3回しかプールに入る機会がなく、(プールのある学校へ行って)借りる側なので寒い時期でも雨でも仕方が無い(振替が難しい)。過去2回の質問では前向きな答弁は得られなかったが、今回は、温水プール・民間プールの利用も検討しているということだった。今度こそしっかり機会の確保をしてほしい。

③ 観光施策と宿泊税について

市は、人口減少や高齢化による日本人観光客が伸び悩むため、外国人観光客の誘致強化が必要と考えている。海外観光客の来函手段の一つがクルーズ船で今年は過去最高の47隻が入港予定。クルーズ参加客からの声(他の寄港地ではお出迎え、お見送りがあったが函館ではなかった)やクルーズ船内で配布された寄港地情報(ガイドブック)などから函館のおもてなしや情報提供で見た課題を指摘。宿泊税については、コロナ禍の前に協議が進んでいたが現在の状況について質問。道の宿泊税導入に主導権を握られないよう、他市町に遅れをとらないような検討を進めていくべきではと主張。市の考えは、観光施策の更なる充実を図る上での新たな財源として望ましいが、市内宿泊事業者からヒアリングしながら制度・導入時期について慎重かつ丁寧に議論を進める必要があるとのこと。

令和 5 年第 3 回市議会定例会(9 月)一般質問

9月19日(火) 16:30~17:30

① 持ち運べる市役所(LINE システムのリニューアル)について

昨年の一般質問で提案し導入された市の公式 LINE。来年 1 月のリニューアルでは「個人認証」と「決済機能」が付加される。現在利用されている産後ケアの申込みは9割が LINE 申請と利用率が高く、利便性の向上につながっている。今後は「出産・子育て応援給付金」申請といった給付金の申請、住民票写し等の申請など行政サービスでの利用拡大が考えられる。公共施設の予約は、施設に出向く、抽選会に立ち会う必要ありといった現状から、デジタル利用による利便性の向上を図れることや学校の連絡ツールとしての LINE 活用を提案した。



② 認知症の現状と施策の推進について

函館市の認知症高齢者数は 11,888 人(6月末現在)、2025年の推計では12, 547人。認知症に早く気づくと、本人・家族も症状が軽いうちに認知症の理解が進み、対処の検討にも早く入れることから早期発見が大切。認知症における「空白の期間」(本人・周囲が違和感を持ってから診断受けるまで＝平均13. 35か月、認知症の診断を受けてから介護保険サービスを受けるまで＝平均16. 93か月)を短縮する取組みを期待。また MCI(軽度認知障害:正常と認知症の中間状態。放置すると1年で10～30%が認知症に進行)の人数を試算すると推計11, 590人(8月末現在)。MCI の時点で進行を予防・改善できれば認知症発症や進行を遅らせるのに役立つ。市が行っている MCI の検査の受検率向上を要望。

③ 証拠・根拠に基づく政策立案(EBPM)の導入について

EBPM(エビデンス・ベースド・ポリシー・メイキング)は客観的なデータを活用した政策形成手法の一つ。4 年前の一般質問で取り上げた(人口減少や将来の財政を考えると政策立案・評価に必要な手法と考えて)。今回 EBPM は市長政策に入っており、市長の公約138項目を推進する過程で EBPM の考え方を取り入れるとしており市長公約推進会議を立ち上げた。課題であるデータ基盤の整備とデータ分析できる人材の確保・育成は具体的な取組みについての答弁がなかった。要は、函館市に必要な施策が根拠に基づいて立案されるよう、またその効果が検証され、税金投入の意義があったか否かを評価する、その結果が次年度予算に反映される、という一連の流れができるように、まずは第一歩として市長政策の選択・評価において EBPM が機能するような取組みと分かりやすい説明を期待。

市職員の市外居住率

荒木は、日頃市民の皆さまから市政へのご意見、ご質問などを伺っています。今回は「市役所職員のうち、函館市以外に住んでいる職員が多いと聞かが、市から給与を得て、市外に税金を払う(函館市に税金が入らない)のはおかしいのでは、また災害など緊急時に駆けつける上で問題ではないか、数字をニュースレターにあげてほしい」というご要望をいただきましたので、総務部にデータを出してもらい、以下に掲載いたします。

職員の市外居住率 各年5月1日時点

		令和2年度						令和3年度						令和4年度						令和5年度					
		市	消	教	企	病	計	市	消	教	企	病	計	市	消	教	企	病	計	市	消	教	企	病	計
職員数	総数	1,411	393	270	263	1,014	3,351	1,390	394	265	260	1,050	3,359	1,386	393	265	257	1,072	3,373	1,383	393	256	254	1,080	3,366
	市外居住	87	37	23	21	147	315	88	43	25	17	164	337	86	48	23	17	173	347	72	47	25	17	185	346
	割合(%)	6.2	9.4	8.5	8.0	14.5	9.4	6.3	10.9	9.4	6.5	15.6	10.0	6.2	12.2	8.7	6.6	16.1	10.3	5.2	12.0	9.8	6.7	17.1	10.3
管理職数	総数	161	22	34	21	42	280	161	22	34	20	49	286	161	22	35	20	49	287	162	22	35	20	70	309
	市外居住	6	0	2	4	8	20	7	0	6	3	9	25	7	0	6	3	9	25	5	0	5	4	14	28
	割合(%)	3.7	-	5.9	19.0	19.0	7.1	4.3	-	17.6	15.0	18.4	8.7	4.3	-	17.1	15.0	18.4	8.7	3.1	-	14.3	20.0	20.0	9.1

※市：市長部局等、消：消防本部、教：教育委員会、企：企業局、病：病院局 / 職員数には管理職数を含む。

職員、管理職ともに、全体の1割程度が市外に居住しています。直近4年間のデータを比較すると、各部局共にほぼ同傾向(病院局職員の市外居住率はやや微増)。部局毎では、企業局、病院局の管理職において市外居住率が他部局と比べて高い傾向にあります。

これまで議会質問で何度も取り上げられてきましたが、憲法で居住・移転の自由が保障されていること、家庭の事情を考慮すると市内居住を強制できない、というのが市の見解でした。現在は、新規採用内定時に原則市内居住を求めているということです。例えば、市外居住の職員へ函館市のふるさと納税を呼びかけることも(市から得た給与の一部が市に還元)一つの策になるのではないかと考えます。

下記の通り、開催いたします。是非ご参加ください！

荒木あけみと語る会

日時：2024年1月28日(日)10時半～11時半

会場：サン・リフレ函館(大森町 2-14)

申込不要、参加無料、入退室自由。

荒木からの議員活動報告と皆様からご質問・ご意見をいただく会です



新企画！

荒木あけみと新年会 (初の試みです!)

日時：2024年1月20日(土)18時半～

会場：湯元啄木亭(湯川町 1 丁目 18-15)

食事・飲み放題、温泉入浴付(入浴後の控室あり)、ゲームも！(会費7千円)

参加ご希望の方は、下記までご連絡ください

(電話:090-5070-8595(佐々木) メール: aarakinet@gmail.com)

個人寄付(カンパ)のお願い

荒木あけみは、政党や会派に属さない無所属の議員であり、団体や企業の支援を受けずに自立した政治家として歩むことを信条としています。その活動は自己資金と個人寄附(カンパ)によって支えられています。活動を広く伝えるには、広報資料・印刷物の作成管理、郵便経費等が発生するのが現状であり、ご無理のない範囲で個人寄附をいただけますと幸いです。



振込先 【名義】 未来へつなぐ荒木あけみネット (ミライヘツナグ アラキアケミネット)

●ゆうちょから【ゆうちょ 記号】19430 【番号】8896651

●他金融機関から【ゆうちょ銀行 店名】九四八(キューヨンハチ) 普通預金 【口座番号】0889665

●金額：1口500円より何口でも結構です

市政へのご意見、ニュースレター送付先変更などのご連絡は..

未来へつなぐ荒木あけみネット(荒木あけみ後援会)

所在地：〒040-0035 函館市松風町 17-10 FAX：0138-76-3321 E-mail：info@arakiakemi.jp

Instagram araki.akemi



facebook
未来へつなぐ荒木あけみネット



X (旧 twitter)
荒木あけみ【函館市議会議員】



荒木あけみ公式ホームページ
<https://www.arakiakemi.jp/>

